

平成30年度第2回伊勢市行政改革推進委員会 会議録

1. 日 時 平成30年5月7日（月）13：00～15：25
2. 場 所 伊勢市役所本庁舎東館4階 4－2会議室
3. 出席者 筒井委員、藤井委員、三輪委員、加藤委員、田岡委員
欠席者 花房委員
4. 事務局 浦井情報戦略局長、杉原情報調査室長、中川主幹、奥山、森口
5. 内 容

(1) 議題

- ①事務事業たな卸しチェックシート（案）について
- ②行財政改革指針に基づく取組項目の平成29年度実施結果及び総括について
- ③伊勢市行財政改革プラン（案）について

6. 会議録（要旨）

①事務事業たな卸しチェックシート（案）について

■頂いた意見

- ・ 総合計画の課題コードを記載することで「総合計画記載の事業数＝たな卸しの事業数」となり、事業数は確定するのか。
→（事務局）事業数は、まだ確定していない。たな卸しは、全ての事業を対象としているため、総合計画に関連付かない事業もある。
- ・ 「取組の目標及び内容」について、原課が具体的に記述するには難しくないか。
→（事務局）全庁的な調整が必要なものについては、原課において具体的に記載することは難しいかもしれない。また、具体的に記述できるもののみを対象とすると、取組対象から外れてしまう。取組内容が具体的に決まっていないのであれば、簡単に記述してもらうことで対応したい。
- ・ 原課によるたな卸しチェック後、事務局はシートを見直すのか。
→（事務局）原課のチェックだけでなく、情報調査室においても、予算資料なども参考にチェックをしたり、原課とのヒアリングを行いたい。
- ・ 事務事業たな卸しの結果が、委員会に提示されるのは、いつ頃になるか。
→（事務局）たな卸しの結果を見ながら、会長と相談をさせていただき、重点項目を設定するかどうかを含め、委員会の開催時期を決定したい。

②行財政改革指針に基づく取組項目の平成 29 年度実施結果及び総括について

■頂いた意見

〈総括についての意見〉

○「1 はじめ」

- ・行財政改革を進めることにより「市民の皆さんに『このまちに住んで良かった。このまちに住み続けたい。』と感じていただけるようなまちづくり」を目指すとするが、意識調査は行った方が良い。

○「7 まとめ」

- ・「質的な改革ができたとは言えない結果」と記載があるが、成果はあるのだから「十分な改革ができなかった」という表現でよいのではないかと。

〈取組項目についての意見〉

○「コミュニティバス運行事業の見直し」

- ・利用者数を増やすためには、各地域のニーズを把握することが必要。

○「雑誌スポンサー制度活用による市立図書館雑誌購入財源の確保」

- ・企業や団体だけでなく、個人や市民以外を対象にしてはどうか。
- ・スポンサー制度の他に寄付などを募集してはどうか。
- ・ふるさと納税の制度を利用してはどうか。

○「未利用地の有効活用及び処分」

- ・随意契約の基準や条件を知りたい。→（事務局）基準や条件を後日回答する。

○「道路占用許可の無い占用物件の占用許可及び撤去」

- ・残り約 300 件については、効果が薄かった原因を把握し、今までと違った手法を用いて実行性を高めると良い。

○「いきいきと働く組織風土づくりの推進」

- ・コーチング研修はよい取組だと思うので、平成 28 年以降も取組を継続すべき。

〈その他意見〉

- ・作業量（アウトプット）を指標としている取組も見受けられるため、次期行政改革では、成果を指標にすると良い。

③伊勢市行財政改革プラン（案）について

■頂いた意見

- ・将来的には、人口減少にあわせ、職員数も減少していくことになると思うが、今後は、行政の質を問われることになる。行政は、民間とは役割も異なり、市民サービスの向上に努める必要があることも考慮すべき。

→（事務局）職員管理の部分と市民サービスの維持の部分とのバランスがとれるようにし、手段を考え行政を運営していきたい。